

地 図

地図（社会）の目標について

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【学年・領域等の目標など】

[社会・第3学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

[社会・第4学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 自分たちの都道府県の地理環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

[社会・第5学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土の地理環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

[社会・第6学年]

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

【参考】

○ 目標の改善

幼児教育で育まれたものや、生活科をはじめとする小学校低学年における学習を通じて身に付けた資質・能力の上に、小学校社会科において育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って明確化するとともに、「社会的な見方・考え方」については、小学校社会科の特質を踏まえ、小学校学習指導要領解説第2章第1節1①において示すとおり、「社会的事象の見方・考え方」と言い換え、資質・能力全体に関わるものとして位置付ける方向で教科の目標の改善を図る。

各学年の目標も、三つの柱に沿った資質・能力として整理・明確化する。その際、第3学年及び第4学年の目標と内容については、系統的、段階的に再整理する。また、地図帳の使用を第3学年から目標に示す。

○ 標準授業時数

第3学年－70単位時間	第4学年－90単位時間
第5学年－100単位時間	第6学年－105単位時間

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	地図301	新しい地図帳
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについては、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「日本列島広域地図」において、都道府県における自分たちの住む市（区町村）の位置、市（区町村）の地形や土地利用、交通の広がり調べたりする活動。 ・自分たちの都道府県の地理的環境の特色、自然災害から地域の安全を守るための諸活動を理解することについては、「日本の一般図」を活用して、国内における北海道の位置関係、北海道全体の地形や主な産業、交通網の様子や主な都市の位置などを基に、都道府県の様子を理解したり、「日本の自然災害」において、過去に発生した自然災害について調べたりする活動。 ・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについては、「日本とそのまわり」を活用して、世界の中における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解したり、「日本の資料地図」において、国内の主な農業生産や工業生産の盛んな地域の分布や輸出・輸入相手国の位置などを調べたりする活動。 ・優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについては、「日本の歴史と文化」を活用して、日本の世界遺産について調べたり、「世界の地図」や「世界のおもな国の統計」を活用して、我が国と他国のかかわりを調べたりする活動。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭の世界と日本のイラストマップで学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで地図活用の手掛かりを示したりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫。 ・知床など日本の全ての世界遺産（自然・文化）を写真付きで取り上げるなど、地域の資源に目を向けたり、保護・活用を考えたりできるようにする工夫。 ・「D（デジタル）マーク」を掲載し、学習を補完するコンテンツやWebサイトへの活用を促すことで、児童が学びを深めることができるようにする工夫。 			
分量等の構成・排列、	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地図のぼうげんに出発!」、「発見!わたしたちの日本」で学習意欲を喚起した後に「日本の47都道府県」、「地図帳の使い方」で地図帳の使用方法について学び、「日本列島広域図」、「日本の一般図」、「都市圏図」、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を掲載し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が10ページ、「日本の全図」が8ページ、「日本の地方図」が33ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が31ページであり、総ページ数は102ページで、前回より9%増となっている。（判型はA4判） 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌ語に由来する地名や、北海道の広さをほかの都府県と比較する活動を掲載したりするなど、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされている。 ○ 「キャラクターのセリフ」により、地図の活用の着目点を示したり、学習内容を補完する指示問題を位置付けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザイン（レイアウト統一、文字の書体・大きさ、文節改行、色覚特性に配慮した色づかい）への配慮がなされている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	地図302	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域や市区町村の地理的環境を理解することについては、「地図帳の使い方」を活用して、方位や地図記号を理解したり、「広く見わたす地図」において、都道府県における自分たちの住む市（区町村）の位置、市（区町村）の地形や土地利用、交通の広がり調べたりする活動。 ・自分たちの都道府県の地理的環境の特色、自然災害から地域の安全を守るための諸活動を理解することについては、「都道府県を見る地図」を活用して、国内における北海道の位置関係、北海道全体の地形や主な産業、交通網の様子などを基に、都道府県の様子を理解したり、「日本の自然災害と防災」において、自分の住んでいる地域で発生している自然災害の特徴について話し合ったりする活動。 ・我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状を理解することについては、「日本の領土とそのまわり」を活用して、世界の中における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを理解したり、資料図「日本の産業のようす」において、国内の主な農業生産や工業生産の盛んな地域の分布や輸出・輸入相手国の位置などを調べたりする活動。 ・優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割を理解することについては、「日本の歴史と世界文化遺産」を活用して、日本の歴史と世界文化遺産を関連付けて調べたり、「世界の地図」や「日本と世界の結びつき」を活用して、外国とのかかわりを調べたりする活動。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・雪の多い都市の工夫を示した札幌市中心部の地図で学習意欲を喚起したり、キャラクターの吹き出しで児童の興味・関心を高めたりすることで、児童が見通しをもって学習問題の解決に取り組むことができる工夫。 ・キャラクターの吹き出しで地図の見方を示唆したり、活用を促したりするなど、児童が社会的事象に自ら着目したり、考えたりできるようにする工夫。 ・二次元コードを読み取り学習を支援するコンテンツの活用を促すことで、児童が学びを深めることができるようにする工夫。 			
分量等の構成・排列、	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、巻頭の「世界発見!」、「日本をながめてみよう」で学習意欲を喚起した後に「地図って何だろう」、「地図のやくそく」、「地図帳の使い方」で地図帳の使用方法について学び、「広く見わたす地図」、「都道府県を見る地図」、「都市圏図」、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を掲載し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が12ページ、「日本の全図」が15ページ、「日本の地方図」が42ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が31ページであり、総ページ数は120ページで、前回より40%増となっている。（判型はA4判） 			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラスト等の多様な表現を用いたり、北海道の食材を使ってカレーライスをつくるために、北海道の野菜の産地を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「地図マスターへの道」を設けることにより、児童の興味・関心を高めたり、教師役のキャラクターの問いかけによって、学習活動を促したりするなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザイン（レイアウト統一、文字の書体・大きさ、文節改行、色覚特性に配慮した色づかい）への配慮がなされている。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※ 小学校用教科書目録（平成32年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 			

様式 3

◎ 調査項目

- ① 地図帳の使い方、日本の全図、日本の地方図、世界の地図、資料・統計のページ数及び総ページ数
- ② 領土に関する内容を取り上げている箇所数
- ③ 自然災害に関する内容を取り上げているページ数
- ④ 発展的な学習内容を取り上げているページ数
- ⑤ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等のページ数及び箇所数
- ⑥ URL・QRコードを掲載している箇所数

◎ 調査項目にした理由

- ① 広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を一層深め、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けることが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 我が国の国土の自然などの様子に関する学習等では、我が国の位置と領土を具体的にとらえさせることが求められていることから、領土に関する内容について把握する必要があるため。
- ③ 我が国の国土の自然などの様子に関する学習等では、我が国の自然災害の防止について、具体的にとらえさせることが求められていることから、自然災害に関する内容について把握する必要があるため。
- ④ 児童の系統的な学習に資するよう、教科書上において「発展的な学習内容」であることを可能な範囲で明示することが求められていることから、発展的な学習内容の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ⑤ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわる内容について把握する必要があるため。
- ⑥ 学習上の参考に供するために必要な情報の適切な取扱いが求められていることから、児童の主体的な学習につながるURL・QRコードの掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東書	帝国
①	地図帳の使い方、日本の全図、日本の地方図、世界の地図、資料・統計のページ数及び総ページ数	地図帳の使い方	ページ数	10	12
		日本の全図	ページ数	8	15
		日本の地方図	ページ数	33	42
		世界の地図	ページ数	20	20
		資料・統計	ページ数	31	31
		総ページ数	ページ数	102	120
		前回の総ページ数	ページ数	94	86
		増減		9%	40%
②	領土に関する内容を取り上げている箇所数	領土	箇所数	24	19
③	自然災害に関する内容を取り上げているページ数	自然災害	ページ数	6	16
④	発展的な学習内容を取り上げているページ数（※1）	発展的な学習	ページ数	14	31
⑤	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等のページ数及び箇所数	北海道	ページ数 (箇所数)	20 (39)	22 (51)
⑥	URL・QRコードを掲載している箇所数（※2）	URL・QRコード	箇所数	16	38

（※1）調査項目④については、東書「D（デジタル）マーク」、帝国「地図マスターへの道」を対象とする。

（※2）調査項目⑥については、東書「D（デジタル）マーク」「二次元コード」「URL」、帝国「二次元コード」「URL」を対象とする。

別記

様式4の調査項目②[領土に関する内容を取り上げている箇所数]の具体的な内容

発行者	領域名または単元名（教材名）	領土にかかわる内容	ページ
東書	・日本とそのまわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の領土と海 ・ 日本の国土の統計 ・ 日本の北の端 択捉島の位置 ・ 北方領土の位置 ・ 択捉島の写真 ・ 日本の西の端 与那国島の位置 ・ 与那国島の写真 ・ 尖閣諸島の位置 ・ 竹島の位置 ・ 日本の東の端 南鳥島の位置 ・ 南鳥島の写真 ・ 日本の南の端 沖ノ鳥島の位置 ・ 沖ノ鳥島の写真 ・ 日本の排他的経済水域（200海里水域） 	P15 ～16
	・日本列島－南西諸島から九州－	・尖閣諸島の写真	P18
	・中国地方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹島の位置 ・ 竹島の写真 	P27
	・日本の歴史 世界とのかかわり②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19世紀後半の世界（黒船来航のころ） ・ 明治初期に確定した日本の領土 ・ 20世紀前半の世界（昭和の初めごろ） ・ 第二次世界大戦後の日本の領域 	P77 ～78
	・くらべてみよう日本と世界 ④日本と世界のおもな島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 択捉島の面積 ・ 国後島の面積 	P82
	・日本の都道府県の統計	・「歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の人口は含まれていない」ことについての注釈	P83
帝国	・日本の領土とそのまわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の範囲はどこまでだろうか？（模式図） ・ 日本の北端 択捉島の位置 ・ 択捉島の写真 ・ 日本の西端 与那国島の位置 ・ 与那国島の写真 ・ 日本の東端 南鳥島の位置 ・ 南鳥島の写真 ・ 日本の南端 沖ノ鳥島の位置 ・ 沖ノ鳥島の写真 ・ 北方領土の位置 ・ 北方領土の写真 ・ 竹島 竹島の位置 ・ 竹島の写真 ・ 尖閣諸島 尖閣諸島の位置 ・ 尖閣諸島の写真 ・ 日本の排他的経済水域（200海里水域） 	P29 ～30

		・「帰属が未定になっている地域」の注釈	
	・日本の統計	・「北海道の面積は、歯舞群島95km ² 、色丹島248km ² 、国後島1489km ² 、択捉島3167km ² をふくむ。全国合計にもふくむ」ことについての注釈	P104
	・世界の国々	・「どの国の領土か決まっていない地域」の注釈	P120

様式4の調査項目③[自然災害に関する内容を取り上げているページ数]の具体的な内容

発行者	領域名または単元名（教材名）	領土にかかわる内容	ページ
東書	・オセアニア	・海面が上昇した海岸の写真（ツバル）	P68
	・日本の自然 気候、地形	・海底地形の説明	P70
	・日本の歴史 世界とのかかわり②	・関東大震災 ・阪神・淡路大震災 ・東日本大震災	P77
	・日本の自然災害	・火山の噴火 御嶽山の写真 ・地震 阪神・淡路大震災の写真 ・洪水 関東・東北豪雨の写真 ・土砂災害 九州北部豪雨の写真 ・雪の被害の写真 ・大きな被害をもたらした台風の進路	P97
		・津波 東日本大震災の写真	P98
		・津波がここまで来たという場所を示す石碑の写真 ・宮城県南三陸町志津川地区ハザードマップ ・自然災害にそなえて	P99
	帝国	・日本をながめてみよう	・地震や火山活動との因果関係が考えられるように、海底地形のようすを再現
・京阪神（京都・大阪・神戸）		・おもな広域防災拠点の凡例	P47 ～48
・中部地方南部		・洪水への備えー濃尾平野の輪中ー	P54
・日本の首都・東京		・災害時のおもな避難場所の凡例 ・「災害時に避難せずに地区内に留まる区域もある」ことについての注釈	P61 ～62
・東京都とそのまわり		・おもな広域防災拠点の凡例	P63 ～64
・東北地方 ②気仙沼付近の漁業のようす		・「東日本大震災大震災以降、鉄道のあった場所に専用道を設けて走るバス高速輸送システム（BRT）のルート」の凡例	P66
・日本の自然災害と防災(1) 過去の災害事例		・おもな自然災害（2000年以降） ・おもな台風の進路 ・熊本地震の写真 ・御嶽山噴火の写真	P91
	・豪雪の写真 ・関東・東北豪雨の写真	P92	

		<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方太平洋沖地震の写真 ・世界の地震の分布 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然災害と防災(2) 災害を防ぐ工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害とその備え(模式図) ・都市部での洪水の備え ・先人たちが残した教訓 ・地震の被害と防災への取り組み ・防災マップづくり 	P93 ～94
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史と世界文化遺産 日本のおもなできごと 	<ul style="list-style-type: none"> ・関東大震災 ・阪神・淡路大震災 ・東日本大震災 	P101

様式4の調査項目⑤[北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等のページ及び箇所数]の具体的な内容

発行者	領域名または単元名(教材名)	北海道にかかわる内容	ページ
東書	・北海道	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の北の端の位置 ・択捉島の写真 	P15 ～16
	・日本列島	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線「はやぶさ号」の写真 ・「北海道の稚内市から九州の鹿児島市まで、鉄道を指でなぞり旅をする」(吹き出し) 	P21 ～22
	・東北地方	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方南部の地方図 	P50
	・北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の地方図 ・択捉島の位置 ・千島列島の位置 ・空知総合振興局、留萌振興局、流氷がみられる沿岸 ・「じゃがいも、たまねぎ、にんじん、牛肉の生産量日本一」(吹き出し) ・「アイヌ語に由来している北海道の地名」(吹き出し) ・アイヌ語地名と現在の地名 ・「北海道と他の都府県を比較」(吹き出し) 	P53 ～54
	・日本の自然 気候、地域	<ul style="list-style-type: none"> ・北見の雨温図 ・最低気温(旭川市) 	P69 ～70
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の産業 水産業、農業、工業 	<ul style="list-style-type: none"> ・枝幸、紋別、網走、根室、釧路の水あげ量 ・十勝平野(じゃがいも、肉牛)、根釧台地(乳牛)、ぶどう、たまねぎ、メロン、てんさい、米の北限 ・製紙、パルプ、水産加工品、乳製品 	P71 ～72
	①おもな漁港と水産物		
	②土地の利用とおもな農産物		
	③日本の工業の分布		
	・日本の歴史 世界とのかかわり②	<ul style="list-style-type: none"> ・1875年、千島列島を日本領、樺太をロシア領とする。 ・現在、帰属が未定の地域 ・現在ロシアが占拠している地域 	P78
・日本の歴史と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・知床の写真 	P79	

	日本の世界遺産	<ul style="list-style-type: none"> 札幌 時計台 さっぽろ雪まつり クラーク博士 イオマンテの火まつり 	～80
	<ul style="list-style-type: none"> くらべてみよう日本と世界 ①日本と世界のおもな山 ②日本と世界のおもな川 ③日本と世界のおもな湖 ④日本と世界のおもな島 ⑥日本各地の気温と降水量 	<ul style="list-style-type: none"> 大雪山（旭岳）の写真 石狩川 サロマ湖 屈斜路湖 支笏湖 洞爺湖 択捉島 国後島 札幌市の平均気温と平均降水量 	P81 ～82
	<ul style="list-style-type: none"> 日本の都道府県の統計 	<ul style="list-style-type: none"> 「歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の人口は含まれていない」ことについての注釈 	P83 ～84
	<ul style="list-style-type: none"> 世界のおもな国の統計 オリンピックとワールドカップ 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌（1972年） 	P85
	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然災害 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道南西沖地震 有珠山噴火 	P99
帝国	<ul style="list-style-type: none"> 広く見わたす地図 東北地方 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方南部の地方図 北海道の地域分け 渡島総合振興局・振興局 	P25
	<ul style="list-style-type: none"> 広く見わたす地図 北海道 地方 	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の地方図 択捉島の地図 北海道の地域分け 釧路総合振興局・振興局 「北海道の農産物」（吹き出し） 地図マスターへの道 レベル1 北海道で、寒い地域ならではのまつりの絵を探してみよう。 地図マスターへの道 レベル2 北方領土とよばれる島と群島の名前を四つ答えよう。 	P27 ～28
	<ul style="list-style-type: none"> 日本の領土とそのまわり 	<ul style="list-style-type: none"> 北方領土（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）の位置 北方領土の写真 日本の北端 択捉島の位置 択捉島の写真 地図マスターへの道 レベル1 日本の南端、北端、東端、西端の島の名前をそれぞれ答えよう。 地図マスターへの道 レベル2 札幌市から見て、旭川市はどの方位にあるかな。 	P29 ～30

・東北地方	・北海道南部の地方図	P66
・北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の地方図 ・択捉島の位置 ・流氷のくる海岸、宗谷同号振興局、石狩振興局 ・地図マスターへの道 レベル1 オホーツク海に面した海岸にあるマークは何か。 ・地図マスターへの道 レベル2 103ページの統計を見て、北海道の面積は沖縄県の面積のおよそ何倍か調べてみよう。 ・地図マスターへの道 レベル2 石狩平野、十勝平野、根釧台地では、それぞれどのような土地利用が多いかな。 ・「北海道の大きさ」(吹き出し) 	P69 ～70
・北海道地方南部	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方南部の地方図 ・奥尻島の位置 ・札幌市中心部－雪の多い都市の工夫－ ・根釧台地・根室半島の位置 ・地図マスターへの道 レベル2 北海道の食材を使ってカレーライスをつくろう。どこでとれる何を使うか、ノートに書いてみよう。 ・地図マスターへの道 レベル2 北海道の生産量の多い農産物を三つ答えよう。 	P71 ～72
・日本の自然のようす(1) 地形		P87
ア 地形のようす	・知床(世界自然遺産)	～88
イ 日本のおもな山の高さ	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝岳 ・大雪山(旭岳) 	
ウ 日本のおもな川の長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩川 ・天塩川 	
エ 日本のおもな湖の広さと深さ	・サロマ湖	
キ 世界のおもな湖の広さと深さ	・同縮尺の北海道	
・日本の自然のようす(2) 気候		P89
1 1月の気温	<ul style="list-style-type: none"> ・最低気温を記録したところ(旭川) ・1月の平均気温が最も低いところ(陸別) 	～90
2 1月の降水量	・年間降水量が最も少ないところ(北見(常呂))	
3 8月の気温	・8月の平均気温が最も低いところ(根室(納沙布))	
5 おもな都市の気温と降水量	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌の雨温図 ・「1月の陸別と上越の気温と降水量の比較」(吹き出し) 	
・日本の自然災害と防災(1)	・有珠山噴火	P91

	・十勝沖地震	～92
・日本の産業のようす(1) 農水産業 2 土地利用とおもな農産物の産地	・米、じゃがいも（1位）、肉牛（1位）、乳牛（1位） ・北海道の農業生産に係る帯グラフ	P95 ～96
3 各地の水産業	・稚内、枝幸、紋別、網走、羅臼、根室、釧路、広尾（おもな漁港の水あげ量） ・さんまの水あげの写真（根室）	
・日本の産業のようす(2) 工業・交通 1 工業の分布	・札幌、苫小牧、室蘭	P97 ～98
2 日本の航路	・国際線の便数（200）（新千歳）	
・日本の統計	・「北海道の面積は、歯舞群島95km ² 、色丹島248km ² 、国後島1489km ² 、択捉島3167km ² をふくむ。全国合計にもふくむ」ことについての注釈	P104
・都道府県の名前と位置	・手話で表す都道府県（北海道）	P115